

2021年度 和泉短期大学 シラバス

|                  |  |  |               |       |     |
|------------------|--|--|---------------|-------|-----|
| 授業科目名            | 日本国憲法  |  | 教員氏名          | 松田 壯吾 |     |
| 学年               | 2年   |  | 開講学期          | 後期    |     |
| 授業形態             | 講義   |  | 単位数           | 2単位   |     |
| 必修・選択            | 卒業必修   |  | 実務経験          | 弁護士   | 43年 |
| テーマ              | 憲法に親しむ   |  |               |       |     |
| ディプロマポリシー        | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。         |  |               |       | ○   |
|                  | 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。                      |  |               |       |     |
|                  | 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。                               |  |               |       | ○   |
| カリキュラムポリシー       | 科目群Ⅰ<br>教養   | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する                     |               |       | ○   |
|                  | 科目群Ⅱ<br>原理   | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う                 |               |       | ○   |
|                  | 科目群Ⅲ<br>知識・技能  | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける |               |       |     |
|                  | 科目群Ⅳ<br>実践   | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う              |               |       |     |
| 授業の概要            | PowerPoint(講義プリント)、テキストをベースとして、日本国憲法、憲法問題の講義                               |  |               |       |     |
| 授業の到達目標          | 日本国憲法の基本的理念と体系を理解することを通じて基本的人権を擁護し、愛と奉仕を実践する幼児教育の担い手になると共に、社会に通用する教養を身につける |  |               |       |     |
| テキスト             | 「憲法概説」(財)司法協会<br>※憲法条文のプリント、PowerPointプリントを配布する                            |  |               |       |     |
| 参考書              |  |  |               |       |     |
| ポートフォリオ          |  |  |               |       |     |
| 往還型授業<br>(双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする                                   |  |               |       | ○   |
|                  | リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する   |  |               |       | ○   |
|                  | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める                        |  |               |       | ○   |
|                  | ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する                                  |  |               |       |     |
|                  | その他:   |  |               |       |     |
| 成績評価方法           | 区分   | 割合(%)  | 内容            |       |     |
|                  | 定期試験   | 40   | 定期試験          |       |     |
|                  | 授業内課題<br>参加度<br>出席態度等  | 60   | リアクションペーパーの内容 |       |     |
|                  | その他  |  |               |       |     |
| 授業概要と課題          |  |  |               |       |     |

|     |           |   |      |
|-----|-----------|---|------|
| 第1回 | テーマ<br>内容 | 憲法典について<br>旧憲法と日本国憲法、近代憲法と現代憲法、最高法規                   |      |
|     | 授業外学習     | 講義プリントの下調べ  | 210分 |
| 第2回 | テーマ<br>内容 | 人身の自由<br>移動の自由、奴隷的拘束からの自由、法定手続の保障、刑事手続の保障、死刑制度        |      |
|     | 授業外指示     | 講義プリントの下調べ  | 210分 |
| 第3回 | テーマ<br>内容 | 社会権<br>生存権、教育権、労働権                                    |      |
|     | 授業外指示     | 講義プリントの下調べ  | 210分 |
| 第4回 | テーマ<br>内容 | 経済的権利<br>職業選択の自由、財産権の保障                               |      |
|     | 授業外指示     | 講義プリントの下調べ  | 210分 |
| 第5回 | テーマ<br>内容 | 受益権 国民の義務<br>裁判を受ける権利 国家賠償・刑事補償請求権、三つの義務              |      |
|     | 授業外指示     | 講義プリントの下調べ  | 210分 |
| 第6回 | テーマ<br>内容 | 精神的自由権(1)<br>思想・良心の自由、表現の自由、信教の自由、学問の自由               |      |
|     | 授業外指示     | 講義プリントの下調べ  | 210分 |
| 第7回 | テーマ<br>内容 | 精神的自由権(2)、新しい人権<br>集会結社の自由、家族形成の自由、幸福追求権              |      |
|     | 授業外指示     | 講義プリントの下調べ  | 210分 |
| 第8回 | テーマ<br>内容 | 人権の意義、人権通則、法の下での平等<br>人権の享有主体、人権の到達範囲、人権の制約原理、法の下での平等 |      |
|     | 授業外指示     | 講義プリントの下調べ  | 210分 |
| 第9回 | テーマ<br>内容 | 立法と行政<br>国会と内閣、議院内閣制、国会の権限、内閣の権限、国会と内閣の内部組織           |      |
|     | 授業外指示     | 講義プリントの下調べ  | 210分 |

|      |           |                              |      |
|------|-----------|------------------------------|------|
| 第10回 | テーマ<br>内容 | 司法<br>意義と限界、司法権の独立、違憲審査制     |      |
|      | 授業外指示     | 講義プリントの下調べ                   | 210分 |
| 第11回 | テーマ<br>内容 | 民主主義<br>国民主権、有権者と国会、選挙制度、天皇制 |      |
|      | 授業外指示     | 講義プリントの下調べ                   | 210分 |
| 第12回 | テーマ<br>内容 | 平和主義<br>第9条、前文、日本国憲法が放棄した戦争  |      |
|      | 授業外指示     | 講義プリントの下調べ                   | 210分 |
| 第13回 | テーマ<br>内容 | 地方自治<br>原理、組織、地方公共団体の権能      |      |
|      | 授業外指示     | 講義プリントの下調べ                   | 210分 |

課題に対するフィードバックの方法

レポート課題については、添削したうえで返却し、より深い理解のための一助とする。

2021年度 和泉短期大学 シラバス

|                  |  |  |                            |      |     |
|------------------|--|--|----------------------------|------|-----|
| 授業科目名            | 日本国憲法  |  | 教員氏名                       | 曾我幸男 |     |
| 学年               | 2年   |  | 開講学期                       | 後期   |     |
| 授業形態             | 講義   |  | 単位数                        | 2単位  |     |
| 必修・選択            | 幼免必修   |  | 実務経験                       | 弁護士  | 24年 |
| テーマ              | 日本国憲法の基礎について、身近な実例を踏まえながら理解する。   |  |                            |      |     |
| ディプロマポリシー        | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。   |  |                            |      | ○   |
|                  | 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。  |  |                            |      |     |
|                  | 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。   |  |                            |      |     |
| カリキュラムポリシー       | 科目群Ⅰ<br>教養   | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する                     |                            |      | ○   |
|                  | 科目群Ⅱ<br>原理   | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う                 |                            |      |     |
|                  | 科目群Ⅲ<br>知識・技能  | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける |                            |      |     |
|                  | 科目群Ⅳ<br>実践   | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う              |                            |      |     |
| 授業の概要            | 毎回学ぶべきテーマを設定し、身近な事例を踏まえた講義を行うとともに、具体的な事例ごとに意見を述べる機会を設けながら、憲法に関する基礎的な知識を習得する。講義形式を基本としつつも、学生にも積極的に意見を述べてもらい、参双方向的な授業を目指す。 |  |                            |      |     |
| 授業の到達目標          | ①基本的人権の意味、具体的な内容、重要性、現実の社会内での保障の状況などを理解する。   |  |                            |      |     |
|                  | ②民主政治の仕組み(統治機構)について理解する。   |  |                            |      |     |
|                  | ③日本国憲法の基本原理を理解する。  |  |                            |      |     |
| テキスト             | 目で見る憲法【第5版】  |  |                            |      |     |
| 参考書              | なし   |  |                            |      |     |
| ポートフォリオ          |  |  |                            |      |     |
| 往還型授業<br>(双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする   |  |                            |      | ○   |
|                  | リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する   |  |                            |      |     |
|                  | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める  |  |                            |      |     |
|                  | ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する  |  |                            |      | ○   |
|                  | その他:   |  |                            |      |     |
| 成績評価方法           | 区分   | 割合(%)  | 内容                         |      |     |
|                  | 定期試験   | 0  | 実施しない                      |      |     |
|                  | 授業内課題<br>参加度<br>出席態度等  | 100  | 授業内提出課題70%、授業態度と意欲、出席状況30% |      |     |
|                  | その他  | 0  | なし                         |      |     |
| 授業概要と課題          |  |  |                            |      |     |

|      |           |   |      |
|------|-----------|---|------|
| 第1回  | テーマ<br>内容 | 憲法の基本、立憲主義、憲法の基本三原則、こども・外国人の人権を学ぶ                             |      |
|      | 授業外学習     | (予習・復習)テキストPART I、II 1権利の主体を読む。立憲主義の意味について調べること。              | 210分 |
| 第2回  | テーマ<br>内容 | 幸福追求権、プラバシー権、自己決定権について学ぶ                                      |      |
|      | 授業外指示     | (予習)テキストPART II 2を読む。(復習)授業で扱った事例に関するディスカッションを踏まえて自分の考えをまとめる。 | 210分 |
| 第3回  | テーマ<br>内容 | 法の下での平等について学ぶ   |      |
|      | 授業外指示     | (予習)テキストPART II 3を読む。(復習)授業で提示された課題に取り組む。                     | 210分 |
| 第4回  | テーマ<br>内容 | 思想良心の自由、信教の自由について学ぶ   |      |
|      | 授業外指示     | (予習・復習)テキストPART II 4①②を読み、身近なところで信教の自由が問題となる事例がないか調べる。        | 210分 |
| 第5回  | テーマ<br>内容 | 表現の自由について学ぶ   |      |
|      | 授業外指示     | (予習)テキストPART II 4③を読む。(復習)表現の自由の重要性と、民主政治との関係について考える。         | 210分 |
| 第6回  | テーマ<br>内容 | 学問の自由、経済的自由について学ぶ   |      |
|      | 授業外指示     | (予習・復習)テキストPART II 4④、5を読む。                                   | 210分 |
| 第7回  | テーマ<br>内容 | 社会権(生存権、労働基本権)について学ぶ  |      |
|      | 授業外指示     | (予習)テキストPART II 8を読む。(復習)自分が就職する際の労働条件がどのようなものになりそうか具体的に調べる。  | 210分 |
| 第8回  | テーマ<br>内容 | 人身の自由、適正手続の保障(罪刑法定主義等)について学ぶ                                  |      |
|      | 授業外指示     | (予習)テキストPART II 6、7を読む。(復習)授業で扱った事例について、自分なりに考えて、意見をまとめる。     | 210分 |
| 第9回  | テーマ<br>内容 | 参政権、国務請求権、国民の義務、立法権と国会の制度を学ぶ                                  |      |
|      | 授業外指示     | (予習)テキストPART II 9、10、11を読む。(復習)テキストPART III 1を読み、理解する。        | 210分 |
| 第10回 | テーマ<br>内容 | 行政権と議院内閣制について学ぶ   |      |

|      |       |   |      |
|------|-------|---|------|
| 第10回 | 授業外指示 | (予習・復習)テキストPARTⅢ2を読む。                       | 210分 |
| 第11回 | テーマ内容 | 司法権と違憲審査権について学ぶ                             |      |
|      | 授業外指示 | (予習・復習)テキストPARTⅢ3を読み、理解する。                  | 210分 |
| 第12回 | テーマ内容 | 天皇制、財政制度、地方自治、憲法改正とその限界について学ぶ               |      |
|      | 授業外指示 | (予習・復習)テキストPARTⅢ4～7を読む。                     | 210分 |
| 第13回 | テーマ内容 | 具体的事例に基づき、憲法を横断的に理解する                       |      |
|      | 授業外指示 | (予習)これまでの配布資料を再確認する。(復習)事例問題について自分の考えを整理する。 | 210分 |

#### 課題に対するフィードバックの方法

レポート課題については、添削したうえで返却し、より深い理解のための一助とする。